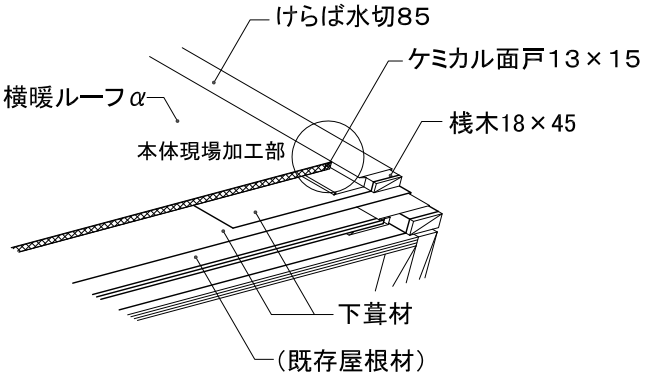
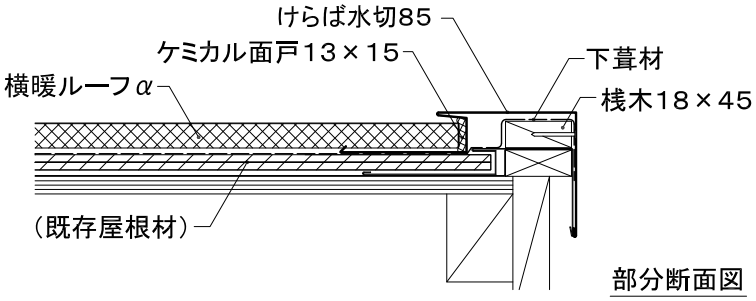
横暖ルーフα	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

5）けらば部

④けらば水切85

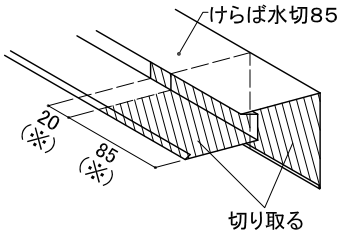
●下葺材は既存水切にかぶせて既存屋根材の上に張ります。
●けらば部に桟木18×45を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
●けらば水切85は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●横暖ルーフα本体は図の位置にケミカル面戸13×15を貼り付け、けらば水切85に差し込みます。
●軒先端部の仕上げは、図のように加工し納めます。



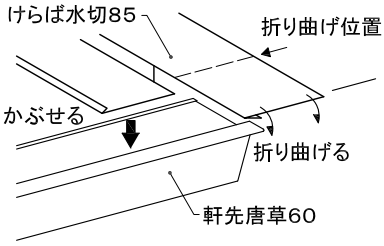


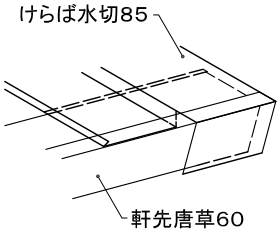
部分断面図

■施工ポイント・現場加工図
●軒先部は、軒先唐草60にけらば水切85をかぶせてください。



①けらば水切85は図のように切断します。
※切り取り寸法は既存屋根材に応じて変更してください。





②けらば水切85は軒先唐草60にかぶせ、図のように折り曲げます。横暖ルーフαが軒先唐草60に差し込めるように、けらば水切85と軒先唐草60の取り合い部の隙間を調整してください。

●その他の加工例



けらば水切85軒先部の加工例





けらば水切85と軒先唐草の取り合い